



## 理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、  
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての  
ものの生命を大切にし、平和な社会をめざす保育園

## めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し  
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切にし、仲間を大切にする子ども

## 保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子ども一人ひとりの発達を援助する
- 2、保護者と子育てを共同する
- 3、保育園の社会的役割を果たす

たけのこ

神沢利子

なんまいも

きもの かさねた あつぎのこ

たけのこ たけのこ

もう はるよ

きもの いちまい おぬぎなさい

にさん しごろく しちまい

まだまだ めいで まだ めいで

できた はだかの ちびぼうや

はくしよん！

ちいぢゃなくしやみした



大型連休の間に、元号が平成～令和に代わり、テレビでの報道で新天皇の国民に向けての言葉は、世界平和をうたっていました。この間憲法記念日、子どもの日もあり、世界平和を願うのは国民の願いでもあり、共感しながら繰り返す報道を聞いていました。大型連休どのように過ごされましたか？私は読みかけの本、近藤幹生著「保育の自由」を読み終えました。内容の随所に子どもの見方、園長としての役割などが記載されていて、自分自身を振り返る機会になりました。この本を紹介していただいた方に感謝です。子どもたちにかかわる大人として子どもの最善の利益を追求し、園が職員にとっても働き甲斐のある職場になるよう、常に努力を重ねていきたいと思います。

先日、バスを待っていたところ、バスが到着するやいなや5才児くらいの男の子が順番を待たずに先にバスに乗り込み、一番先頭の高い座席に座りました。後ろから母親の「ダメだよ」という声が聞こえましたがその子は嬉しそうにニコニコしながら座席の獲得に満足そうでした。その後、母親は大きな声で注意するのではなく、そばに行って静かに話しかけていました。下車の際、その子が大きな声で運転手に向かい「ありがとうございました」と言っていました。その姿を見て、母親はその子とどんなコミュニケーションをとったのか興味深かったです。

子どもはいろんな行動をします。その行動が大人から見ていけない行動と思われることもあるでしょう。その時に子どもにどう話していくか、そのことで子どもは自分の行動がどうだったのか学べるのではないのでしょうか。子どものする行動すべてに意味がありそのことを理解する大人でありたいと思います。

岡本 友子

## 5月の予定

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9 健康診断	10	11 地域講座※	12
13	14	15 3才遠足	16 身体測定	17 遠足予備日	18 地域講座※	19
20	21 体験保育	22 4, 5才遠足	23 健康診断	24 遠足予備日	25	26
27	28 加藤先生の わらべうた	29 引き取り訓練	30 2才児懇談会	31 幼児誕生会 1歳児懇談会		

11日(土) 地域講座・・・絵本の話(保護者の方の参加可能です)

15日(水) 3才児 遠足(雨天時 17日に延期)

\*カメラマンが9時から全クラスの撮影に入りその後、遠足に付き添います。

18日(土) 地域講座・・・おんぶとだっこの話(保護者の方の参加可能です)

22日(水) 4, 5才児 遠足(雨天時 24日に延期)

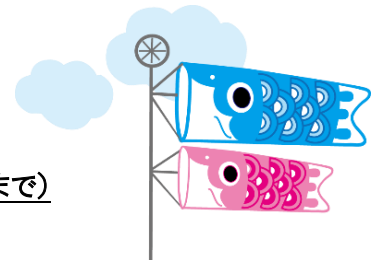
\*カメラマンが9時から全クラスの撮影に入りその後、遠足に付き添います。

## お願い

\*延長保育利用について

不定期の利用の方で次の月の予定がわかる方は申込書に利用日に○をしてください。利用日がわからない方はわかり次第事務室に連絡をしてください。

**遅くとも当日の5時までには事務室に連絡をしてください。(2H利用の方は2時まで)**



## お知らせ

\*29日に引き取り訓練を行います。いつも通りのお迎え時間で大丈夫ですが、お迎えに来た時にクラスの担任から以下の点を確認させていただきます。よろしくお願ひします。

- 1、緊急時の引き取り人の確認(事前に提出されている書類に変更がないか確認します)
- 2、緊急避難場所の確認(緊急引き取り人が近所の方や祖父母の方の場合も避難場所を必ず確認してもらうようにお伝えください)
- 3、緊急時、公共の交通手段が使用できない場合、職場から保育園までどのような手段で来られるのか  
(ex、徒歩で3時間など)
- 4、フェアキャストについての確認は次のページを参照してください。



## 5/29 (火) フェアキャストの一斉送信をします



**16:00にフェアキャストを一斉送信します。**

追いかけて連絡をするため、第三連絡先までメールや電話が届きますので登録している方々へ一言お声がけをお願いします。追いかけて連絡をする間隔は、はじめの連絡が届いてから15分後に送信されますので、第一連絡が届いた時点ですぐには確認作業を行わないでください。第三連絡先まで届きましたら、確認作業をお願いいたします。

日本女子体育大学

住所 世田谷区北鳥山 8-19-1

電話 03-3300-2258

給田小学校

住所 世田谷区給田 4-21-1

電話 03-3308-5671

北野小学校

住所 三鷹市北野 3-1-5

電話 0422-47-0551

緊急時の引き取り場所です。確認しておいてください。

## 地域事業についてのお知らせ

地域事業として地域の人に声かけしていますが、下記の日是在園児の保護者の参加ができます。人数に限りがありますので参加希望の方は事前に申し込みをして親子で参加してください。

### \*地域向け講座 9:30~10:30 (専門の講師の先生を呼んでいます)

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 5月11日 (土) | 絵本の話      |
| 5月18日 (土) | オンブとだっこの話 |
| 7月13日 (土) | ベビーヨガ     |
| 9月21日 (土) | 絵本の話      |

近隣のお友達で対象となる方がいましたら声かけをお願いします。

### \*産前産後講座 9:30~10:30 (妊産婦と生後6か月までのお子様のいる方が対象です)

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 6月25日 (火) | 育児相談           |
| 7月23日 (火) | 看護師の話          |
| 9月 3日 (火) | 育児相談           |
| 9月17日 (火) | 離乳食の話 (試食200円) |
| 10月1日 (火) | 育児相談           |
| 11月6日 (火) | 育児相談           |

## ある日のエピソードより。。。

昨年、「ある日のほっこりしたエピソード」を園だよりで紹介したところ保護者の方から「是非もっと発信して欲しい」という声があったので、今年度の園だよりでできるだけ紹介していきたいと思います。

4月当初、あひる組でもぐら公園へ散歩に行くと、「こんにちは〜！」と元気に声をかけてくれる小学生がいました。どこかで見たことのある顔立ち…、名前を聞くと、4年前に小鳥の森保育園の一時保育に来ていたAくんでした。ちょうど学校が春休みでもぐら公園へあそびに来ていたのです。幼かった頃を思い出すと、あんなに「お母さんがいい〜」とたくさん泣いていたのに、今や一人で公園へ来て、たくましく遊んでいる姿に感動すら覚え

ました。すると、あひる組の B さんと C さんが、もめ始めました。

B さん「C さん、木の棒を持ってあそんじゃいけないんだよ！」

C さん「え～いいんだよ！持って走ってないもん！」

公園へ行くにあたって、子どもたちに遊び方についていくつかの約束をしています。きっと、B さんは木の棒を持って走ってはいけないということを言いたかったのでしょう。危ないことはやめようというルールを知らせる正義感を見せたのです。でも、C さんは気に入った木の棒を大切に持っていたかった。子どもたちの日常の中で、よくある光景です。そこへ、先ほどの小学生 A さんが、B さんと C さんの間に立ち、顔を交互に見つめながら「おいおい、どうした」と仲裁に入ってくれたのです。B さんも C さんもゆずらず「だって！だって！」と主張をくり返します。すると A さんは、「わかったよ。持っちゃいけないなんて言わない。木の棒を持ちたいのはわかる。でも棒を持って走ると自分がけがをすることもあるし、お友達をけがさせちゃうこともある。ね。だから、気をつけてあそぼうね。」と諭してくれました。それを聞いた B さんと C さんは、妙に納得した表情をしています。

B さん「じゃあ、いいよ A さん。棒持ってて。」とつぶやきました。

C さん「うん。ありがと！」無邪気に笑顔！

二人は、もめていたのが嘘のように、一緒にあそびはじめました。私はそれを見て、自分の考えを代弁してもらい、理解してもらえたと感じた瞬間だったと思いました。それと同時に、年上の子に教えられる・諭されることは、昨今の乳幼児期の子どもたちにとって貴重な経験なのではないかと思いました。まさか、散歩先で地域の子に教えられるとは。私にとっても貴重な体験でした。そして、改めて大人も子どもたちの気持ちを正しい言葉で代弁し、気持ちを汲み取ることの大切さを感じた一場面でした。

あひる組保育士



新年度を迎え、あっという間に1ヶ月が経ちました。4月のある日の夕方、園庭で遊んでいると、青色の鯉のぼりがロープに引っかかっているのを見て“恭子さーん、可哀そうだから取ってあげて～”と数人のかもめの子たちが話に来ました。“高くて届かない～。そのうち風が吹いたら戻るんじゃないかな～？”と伝えました。“この子さ～、あの子さ～”と鯉のぼりの話が続いたので、“皆に名前があるように鯉のぼりたちにも名前をつけてあげるのはどう？”と話すと、“いいね！青い子はイリー”と A ちゃんが、“じゃー黒い子はペン君～！”と B ちゃんが言いました。その場には何人もの子がいましたが、A ちゃんと B ちゃんの決めた名前に何を言うわけでもなく笑いながら聞いていました。氷鬼をしていると、いつの間にか引っかかっていたイリーが元に戻っており“良かったね～♪”と嬉しそうにする姿がありました。そのうち、ピンク色の鯉のぼりがロープに引っかかってしまうと、C 君が腕組しながら“もう、ボブだよ～”と言いました。いつの間にボブ？と笑ってしまいました。A ちゃんは、保育園から帰る時、鯉のぼりを見ながら“あかりをつけましょ ぼんぼりに～”とひなまつりの歌をうたっていたとの事。まだまだ4歳…色々な事が頭の中で目まぐるしく回っているのだろうな～とクスクス笑ってしまいます。私自身、名前をつけるのはどう？と提案しましたが、まさか外国の子の様な名前になるとは思っていませんでした。子どもから発信される事を大切にしながら保育していますが、大人から提案したり発信する事もあります。こちらからの発信に対して大人が思っている以上の答えや反応が返ってくるので、子どもの発想力は面白く毎日楽しいです。このようなエピソードが1日の中であちこちにあり、職員間でも共有しています。大変な事もありますが笑いが絶えない毎日です。

幼児保育士

